

# 本学志願増加数 3年連続 全国一



津田沼校舎のC日程入学試験会場

ランキング 8年連続 トップ10入り

## 一般選抜入試・志願者数の多い大学10校

大学	今年度		昨年度		増減数
	募集人数	志願者数	募集人数	志願者数	
1 近畿	5,072	152,493	5,075	157,434	▲ 4,941
2 千葉工大	1,396	145,128	1,396	139,074	6,054
3 明治	5,329	108,042	5,358	102,426	5,616
4 法政	4,217	99,035	4,224	108,280	▲ 9,245
5 日本	7,542	98,506	7,688	93,770	4,736
6 立命館	4,784	91,382	4,797	88,335	3,047
7 早稲田	5,135	90,879	5,045	93,843	▲ 2,964
8 東洋	5,445	87,096	5,500	98,261	▲ 11,165
9 関西	3,724	77,754	3,724	79,184	▲ 1,430
10 中央	4,249	66,757	4,269	63,355	3,402

代々木ゼミナール調べ (3/14更新)

新型コロナウイルス禍や国際情勢による経済不安が続く中、23年度入試は全体的な受験生人口が減少傾向にある中、本学は志願者数が増加し、全国1位の座をキープした。

## 2023年度志願者数

試験種	今年度	昨年度	増減
共通テスト利用 (前期)	54,480	57,117	▲ 2,637
共通テスト利用 (中期)	7,871	7,776	95
共通テスト利用 (後期)	5,598	2,066	3,532
A日程入学試験	35,392	34,411	981
S A日程入学試験	15,095	13,971	1,124
B日程入学試験	15,965	18,413	▲ 2,448
S B日程入学試験 (新設)	5,950	-	-
C日程入学試験	4,777	5,320	▲ 543
一般選抜計	145,128	139,074	6,054

新型コロナウイルス禍や国際情勢による経済不安が続く中、23年度入試は全体的な受験生人口が減少傾向にある中、本学は志願者数が増加し、全国1位の座をキープした。

# 一般選抜志願 14万5千人超に

3月5日のC日程入学試験を終え、2023年度の入学試験が全て終了した。今年度は昨年度に続き、共通テスト利用入試の検定料を免除したほか、新方式の入学試験を実施し、一般選抜志願者ランキングでは8年連続トップ10入りを果たし、全国2位の座をキープ(左の表参照)3月14日・代々木ゼミナール調べ。

## ニュースガイド

- 2面 web3概論を開講/孤独死しない家・岩間さん最優秀賞/角さん齊藤さん、ちばぎんアイデア賞/菅野さん曾我辺さん受賞
- 3面 諸隈主席研究員らに助成、山本教授は理科教育企画賞/「学会DAO」立ち上げ/小林さん学会誌優秀論文賞/野田さん国際会議で受賞/鈴木さん技育展で優秀賞/西松教授MMD研と共同調査
- 4面 デザイン卒展3年ぶり外部見学者/清水副所長が優秀講演賞/またねPARCO!
- 5面 瀧野教授「フェロー」認定/しんかい6500など展示/学生窓口時間変更お知らせ/校友「遠田比呂志さん」
- 6面 定年退職の皆さん/久々演舞よさこい風神/新任紹介

## 令和5年度 入学式



令和5年度の入学式は、4月5日(水)午前10時30分から、幕張メッセ・イベントホールで挙行されます(約40分)。午前9時30分に開場、新入生・保護者の皆様は開式10分前までに入場してください。式典終了後、基調講演を行います(約1時間)。

# NFTで学位記

## 国内初 卒業・修了生に発行

令和4年度の卒業生・修了生に対し、本学は通常授与式で手渡す学位記とは別に、NFT学位証明書(英文)を発行することになった。大学が学位証明書をNFT化した事例は国内初となる。

今回のNFT学位証明書は、オンチェーン情報で一般公開されるNFTと、学生側で公開/非公開の設定が可能なVC(Verifiable Credentials)の2つの技術を掛け合わせることで、学生のプライバシーを保護している。

NFT画像には「千葉工業大学の卒業生であること」のみを記載し、学生の名前や学位、学科などの個人情報やVCとして発行する。

昨年8月に(株)Pitpa(本社・東京都渋谷区、石部達也代表取締役)と共同でブロックチェーン技術を使った学歴証明書の発行を始めており、今回の学位記は希望者1100人に発行される。本学が取り組むNFTは、学内プロジェクトとして立ち上げ、実験的にweb3時代のジョブ型ワークを推進するもの。証書デザインは稲坂晃義

◆ VC(Verifiable Credentials) 資格や能力などを証明する、デジタル上で検証可能な個人情報のこと。国際技術標準化団体・W3Cによって標準化されている。

今後、学歴証明や学位証明に続き、さまざまな場面で必要となる各種証明書のNFT化を進める。他大学や企業にも利用を拡大することで社会全体のDX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進を目指す。

◆ デザイン科学科准教授の研究室の豊田仁美さん(修士1年)、石井水稀さん(4年)、安松菜奈さん(4年)が担当した。豊田さんは学位記デザインを「大学で得た貴重な「原石」に、新たなチャンスや信頼関係で磨きをかけられるよう、「原石」をテーマに時間をかけて完成させました」と話している。

DIPLOMA 2022 CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY HEREBY CONFERS THE DEGREE OF BACHELOR OF ENGINEERING IN INFORMATION AND COMMUNICATION SYSTEMS ENGINEERING ON **KOUDAI Taro** Awarded on March 22, 2023

MAITSUI Takafumi President of Chiba Institute of Technology

# 孤独死しない家 最優秀賞

岩間さん ■ 全国卒展、坂内さんもカシワバラ賞



建築を学ぶ全国の学生に卒業発表の場を設けている「卒、28」(全国合同卒業設計展主催、2月25、26日にオンライン講評会をYouTube配信、都内隅田川公園リバーサイドギャラリーで展示)で、岩間小春さん(建築学科4年、今村創平研究室II写真右)の「終のすみかー孤独な最期を迎えない住まいの物語ー」が最優秀賞に選ばれた。また、坂内俊太さん(同研究室)の作品「人間のたのみのインフラへ」が最優秀賞に選ばれた。



① ほとんどが空き部屋となりカーテンや分厚い戸で生活が隠れてしまっている



② 2つの離れ増築と2階部分の解放。街を受け入れ始める。見守りの芽が生まれる

「卒、28」は、東京理科大学の西田司准教授が総合司会し、建築デザイナー約10人が応募された作品を審査する。岩間さんは孤独死に対する建築的アプローチとプレゼンテーションの質が高く評価された。岩間さんは「初めのまいを提案した。卒業制作は、自分が孤独死したくないという思いから始まり、将来住む実家の改修をテーマとした。それが家族のため、街のためと想像がどんどん膨らみ、楽しみながら設計できたという。」

岩間さんは「初めてのまいを提案した。卒業制作は、自分が孤独死したくないという思いから始まり、将来住む実家の改修をテーマとした。それが家族のため、街のためと想像がどんどん膨らみ、楽しみながら設計できたという。」

菅野透さん  
「複合有機テンプレート法による多孔質球状シリカ粒子の調製」  
多孔質球状シリカ粒子は、ドラッグデリバリーシステムの運び役などへ

菅野透さん  
「複合有機テンプレート法による多孔質球状シリカ粒子の調製」  
多孔質球状シリカ粒子は、ドラッグデリバリーシステムの運び役などへ

曾我辺祐輝さん  
「六角板状酸化亜鉛粒子を用いた粒子担持薄膜の作製」  
酸化亜鉛は3.37eVのバンドギャップを持ち、紫外線を照射すると

曾我辺祐輝さん  
「六角板状酸化亜鉛粒子を用いた粒子担持薄膜の作製」  
酸化亜鉛は3.37eVのバンドギャップを持ち、紫外線を照射すると

菅野透さん  
「複合有機テンプレート法による多孔質球状シリカ粒子の調製」  
多孔質球状シリカ粒子は、ドラッグデリバリーシステムの運び役などへ

菅野透さん  
「複合有機テンプレート法による多孔質球状シリカ粒子の調製」  
多孔質球状シリカ粒子は、ドラッグデリバリーシステムの運び役などへ

曾我辺祐輝さん  
「六角板状酸化亜鉛粒子を用いた粒子担持薄膜の作製」  
酸化亜鉛は3.37eVのバンドギャップを持ち、紫外線を照射すると

曾我辺祐輝さん  
「六角板状酸化亜鉛粒子を用いた粒子担持薄膜の作製」  
酸化亜鉛は3.37eVのバンドギャップを持ち、紫外線を照射すると

「Web3概論」を開講  
4月に変革センター 社会人にも門戸  
本学は(株)Pitpa(本社・東京都渋谷区、石部達也代表取締役)と共同で、「web3人材」の輩出を目指す教育プログラムを開発し、4月13日から「web3概論」として新たな講座を開講する。



後予想される。しかし、日本の現状はweb3に關わるエンジニアやビジネスリーダーなどの人材不足が懸念される状況にある。そこで、web3技術に特化した教育プログラムを開発し、社会人にも門戸を広げ、多様な人材の育成を目指す。講座では、米マサチューセッツ工科大メディアラボで所長を務め現在、本学変革センターの伊藤一センター長II写真IIと、ブロックチェーンや仮想通貨などのテクノロジーを支える専門家が登壇し、基礎知識から応用までの講義を行う。

千葉銀行と横浜銀行が地域経済の担い手となる学生たちに募集した「ちばぎん・はまぎん学生ビジネスコンテスト」で、

角さん 齊藤さん ■ ちばぎんアイデア賞  
角真輝さん(工学専攻博士後期1年、佐藤宣夫研究室II写真下の右)と齊藤斗斗さん(機械電子創成工学専攻修士1年、同

Rocketのバッテリー販売提案  
角さん 齊藤さん ■ ちばぎんアイデア賞  
角真輝さん(工学専攻博士後期1年、佐藤宣夫研究室II写真下の右)と齊藤斗斗さん(機械電子創成工学専攻修士1年、同

Rocketのバッテリー販売提案  
角さん 齊藤さん ■ ちばぎんアイデア賞  
角真輝さん(工学専攻博士後期1年、佐藤宣夫研究室II写真下の右)と齊藤斗斗さん(機械電子創成工学専攻修士1年、同

Rocketの射出時や運  
角真輝さん(工学専攻博士後期1年、佐藤宣夫研究室II写真下の右)と齊藤斗斗さん(機械電子創成工学専攻修士1年、同

## 応用化学の2人が受賞

菅野透さん 曾我辺祐輝さん ■ 材料技術研討論会



菅野透さん  
「複合有機テンプレート法による多孔質球状シリカ粒子の調製」  
多孔質球状シリカ粒子は、ドラッグデリバリーシステムの運び役などへ

曾我辺祐輝さん  
「六角板状酸化亜鉛粒子を用いた粒子担持薄膜の作製」  
酸化亜鉛は3.37eVのバンドギャップを持ち、紫外線を照射すると



菅野透さん  
「複合有機テンプレート法による多孔質球状シリカ粒子の調製」  
多孔質球状シリカ粒子は、ドラッグデリバリーシステムの運び役などへ

東レ科学振興会

助成対象に諸隈主席研究員ら  
山本教授は理科教育企画賞

公益財団法人東レ科学振興会は2月16日、第63回東レ科学技術研究助成(10件)の対象に、惑星探査研究センター(PERC)の諸隈智貴・主席研究員、秋田谷洋・上席研究員、「近紫外線専用観測装置の開発による天文学の新展開を選んだ。



諸隈主席研究員

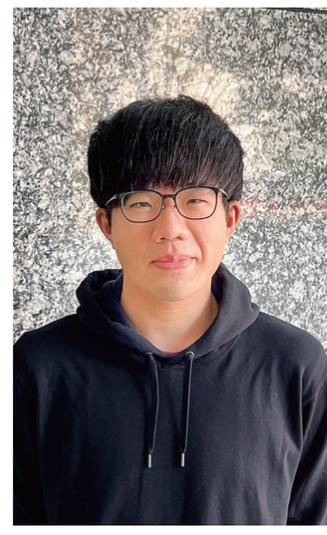


秋田谷上席研究員

諸隈主席研究員らは半導体検出器や光学素子の技術的な進歩が近紫外線(300~400nm)における天文学観測に生かされ切れていないことに注目し、この波長帯に最適化した世界的にも珍しい観測装置を開発する。まずは広島大・かなた望遠鏡に搭載し、宇宙における爆発現象や小惑星における水の起源などの解明を目指す。日本天文学会の推薦により助成が決まった。

テラヘルツ波による検知技術で

小林さん ■ 学会誌優秀論文賞



小林慶祐さん(情報通信システム工学専攻修士2年、長敬三研究室)写真が筆頭著者として電子情報通信学会誌に発表した論文「合成開口アンテナを用いたTHz-DS測定における仮想アレイ位置の影響と複数周波数利用によるアレイ素子数削減」が3月1日、学会の学生・若手論文特集編集委員

集写に掲載された。小林さんはテラヘルツ波を用いた検知技術を研究している。反射型テラ

日本初「学会DAO」

角田教授・高木助教立ち上げ

デジタル人材やIT人材の育成を目指すデジタル人材育成学会(会長角田仁・金融・経営リスキ科学科教授)は2月中旬、日本初の「学会DAO」を立ち上げた。DAO(Decentralized Autonomous Organization)分散型自律組織は、特定の所有者や管理



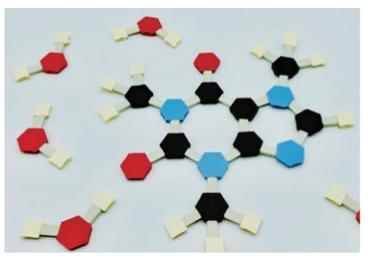
角田教授



高木助教

者が存在しないでも事業やプロジェクトを推進できる組織を指す概念。Web3時代の本格化を迎える。学会のDAO事務局長

え、新たな組織形態として注目されている。今回、デジタル人材育成学会のDAO事務局長角田教授は「米国では多様なDAOが立ち上がっているが、日本では発展途上。日本でもさまざまな分野でDAOが普及している」と期待している」と述べた。



型で、パズルのように考えながら手軽に組み立てることができる。山本教授は「子どもたちの探心を育む知的玩具や、授業での主体的な深い学びを促すための学習教材

電源小型化、インバータ設計

野田さん ■ 国際会議で受賞



信号処理学会の国際会議「2023非線形回路、通信、信号処理に関するRISP国際ワークショップ」(NSP'23)2月28日~3月3日、ハワイ・ホノルルのアラモアナホテルで開催)で、野田碧さん(電気電子工学科4年、魏秀欽研究室)が「Design of Load-Independent Class-E Inverter with Non-sinusoidal Output Current」(非正弦波出力電流をもつ負非依存E-F級インバータの設計)を英語で口頭発表し、Student Paper Award(学生論文賞)を受賞した。

パソコンやスマートフォンなどの電源回路小型化のためE-F級インバータ(直流を交流に変える装置)が注目されているが、負荷抵抗の変動に敏感である。そこで、負非依存E-F級インバータとその設計手法が提案されたが、実際は出力電流が正弦波にならず、高周波化・高効率化に直結す

るソフトスイッチングと定電流モードを同時に実現できていない。野田さんは、定常解析技術と数値計算最適化技術を融合し、基本周波数成分も高調波成分も考慮することで、負荷変動によらない高電力変換効率・定電流を常に達成できるE-F級インバータの設計理論を確立した。回路解析、数値計算は1つでもミスすると成功

を生成し、空間平均を適用する手法が報告されている。小林さんは位置推定精度をシミュレーションなどで検討し、複数周波数イメージを用いる手法が広帯域Eパルス照射するTHz-DS測定に適している。野田さんは「賞を頂けて光栄です。論文執筆で指導をいただいた長敬三先生、中林寛暁先生、水津光司先生に感謝します」と語った。

にはつながらず、細心の注意を心がけたという。例年、学生論文賞は発表論文の約15%を上限に贈られている。野田さんは「受賞できてとても光栄です。サポートしてくださった魏先生や同期生のおかげで頑張れました。初の国際会議、初の海外、英語で発表、と緊張しましたが、よい経験になりました」と感想を寄せた。

MMD研と共同調査

西松教授 ■ 経済圏利用者分析

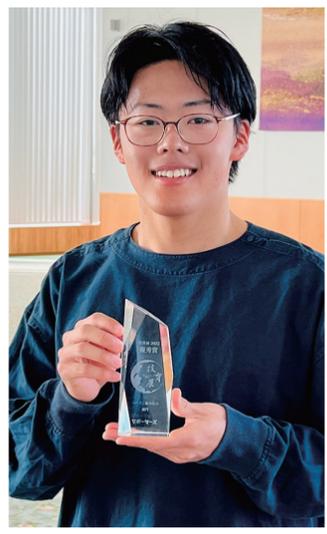


経営情報科学科の西松研教授II写真IIはMMD Labo(東京都港区、吉本浩司代表取締役)が運営するMMD研究所と共同で、経済圏利用者の

分析に関するプロジェクトを開始した。MMD Laboは通信・モバイル・IT分野のマーケットリサーチ機関で、西松教授と、ユーザーの選択行動の変化で市場や社会がどんな影響を受けるかなどを調査・研究していく。昨年12月には第一弾としてメディア向け「通信キャリア、ポイント経済圏の実態勉強会を開催。通信事業者や決済で意識して利用する会社ごとに「ドコモ経済圏」「au経済圏」「paypay経済圏」「楽天経済圏」「イオン経済圏」に分け、各経済圏のユーザーの特徴や今後の動向を分析した。

廃材管でカーポートを自作

鈴木さん ■ 技育展で優秀賞



学生エンジニアを応援する「技育展2022」(株サポーターズ主催、昨年9月10~13日にプレゼンテーション)は予備審査を通った400人180作品で競われ、ハード組み込み部門で鈴木和真さん(建築学科1年II写真)の「水道管で自作カーポート」が優秀賞を獲得

した。上水道の配管実習で残った水道管(廃材)をフレームに再利用し、エン

ジンで動くカーポートを自作した。亜鉛メッキが溶接の邪魔になったり、熱の歪みを抑える方法などで試行錯誤したという。

審査では、技術的完成度の高さや、廃材の再利用が自動車メーカーもやらないような発見と挑戦につながるかもしれないと評価された。

鈴木さんは千葉・京葉工高3年時に仲間とカーポートを自作してモノづくりの達成感に目覚めたという。建築学科では、ガレ

ージライフを本気で楽しめる家を設計するのが夢で「作品が専門エンジニアから評価を頂けるとは思ってもいなかったのですね」と語った。

西松教授は「コラボレーションサービスが増える中で、ユーザーが何を重視してサービスを選択しているか、セグメントを理解し、人がやりたいことができる社会的プラットフォームの確立が重要」と話している。



# 瀧野教授を「フェロー」認定

## 機械学会 ■ 表面創成技術で成果



機械工学科の瀧野日出雄教授の写真が2月7日、日本機械学会から「機械および機械システムとその関連分野で顕著な功績があった」として「フェロー」に認定された。

瀧野教授は機械加工や特殊加工、特にナノやマイクロの微細な形状を持つ表面の創成技術を研究して、高い評価を得ている。

機械学会は1897（明治30）年創立。126年の歴史があり会員数3万3千人を超える国内最大級の学会。2000年度からフェロー制度を導入し、顕著な成果を挙げた研究者に対し、正会員の3〜5%をめどに認定している。

# 次世代海洋研究センター協力 「しんかい6500」など展示

## 千葉市科学館リニューアル

最新の科学を、よの魅力的に分かりやすく、と千葉市科学館（千葉市中央区・きぼーる7〜10階）が昨年夏から常設展示の一部をリニューアルした。主に組み替えたの

9階には海洋研究開発機構などの協力で、有人潜水調査船「しんかい6500」の原寸大モデルが展示された。本学次世代海洋資源研究センター（ORCENG）の町田

の不思議を分かりやすく解説。水深5千以上の深海から採取されたマンガンノジュールなどのサンプルや、潜航調査の観察記録が書き込まれた地形図の実物を見ることができ、資源探査をリアルに体験できるシミュ

レーションゲームも人気を集めている。リニューアルには海洋研究開発機構のほか宇宙航空研究開発機構（JAXA）、国立研究開発法人（JAMSTEC）や企業も協力した。



町田上席研究員も乗ったしんかい6500のcockpitを再現



貴重な試料について説明する町田上席研究員

「しんかい6500と深海探査の1日」▽海底探査技術の最先端▽深海底の金属資源―と、3つのテーマを展開。センターのメンバーが展示資料の多くを提供した。

「しんかい6500」で海底を探査する際、研究者たちが持つて行くものは？

- ・海底の地形はどうなっている？
- ・金属資源はどのように見つかる？
- ・金属資源に含まれるレアメタルは、暮らしている役に立っているの？
- ・ほとんど目に見えない深海底や金属資源

## 〈 開設時間変更のお知らせ 〉

■ 4月から、学生窓口の事務取り扱い時間が下記のように変更となります。ご注意ください。

学生窓口		現状	変更後
教学センター	平日	9:00~20:00(新習19:00)	9:00~17:00
	土曜日	9:00~18:00(新習17:00)	9:00~12:00
就職・進路支援部	平日	9:00~20:00	9:00~17:00
	土曜日	9:00~17:00	9:00~12:00

# 活躍する 校友

日本特殊塗料(株)社長

遠田 比呂志さん (64歳)

(昭和58年、工業化学科卒)

近代社会を迎え、塗料産業は発展した。「わが社もそうです。でも私は工業化学を勉強したのに塗料の世界とは無縁だったんですよ。航空機やロケットの塗料、自動車用防音材などで知られる日本特殊塗料(本社・東京、略称「ニトック」)の社長に1昨年6月就任した遠田さんは「意外でしょう?」といった表情で明るく言った。昨年、本社で話をうかがった。

まず屋根瓦用の塗料を開発し建築業界へ、次いで自動車や鉄道車両の防音・防錆(さびを防ぐ)・衝撃防護の塗料や防音・制振(振動を抑える)材を開発、やがて同社のメインとなる自動車部品事業へと進出していった。遠田さんはこの部品分野で技術屋人生をかけていく。

入社し、先輩に「恨むなよ」と引導を渡されて配属されたのは自動車部品事業部の音響技術部試作課。新設の部署だった。クルマは、エンジンはもちろん、走行中に車体

# 学びは役に立つ 脱・マインドセットを



「自分でものを考えられる人」と遠田さん

の故・仲西他七氏が1919(大正8)年、品川で立ち上げた。30歳そこそこ。「ベンチャーの走り」(遠田さん)だ。航空機はまだ羽布製の時代。しかし、いずれ機体は軽金属(ジュラルミン)製になるとふんだ彼は、金属用塗料の研究を進めた。1930年、それが陸軍に正式採用され、戦闘機を彩った。

「ここが私は図面を読めないし引けないんですよ。仕方なく半年ほど専門学校へ夜通い、マスターした。でも、そのおかげで部品の試作から金型の発注、そして量産立ち

上げと、部材メーカー、金型メーカー、自動車メーカーの各工場立ち会って全工程を一人で担当できた。組織(正社員だけで現在約1300人)が大きくなり、分業化した現在では難しいことができる時代だった」と喜ぶ。いまでも自動車防音対策の音響設計技術や自動車用防音材のニトックの市場シェアは業界トップクラスだが、「大学の研究室で思考錯誤しながらガラス繊維を紡糸した体験が役立ちましたね」と振り返る。学びはやはり大切なものである。

「脱・マインドセット(先入観、固定した考え方を捨てる)を、とも言っています。何事にも柔軟に対処しよう、という意味です。」

「いろいろな部署を経験し、発想のウイングを広く持つことが重要」と組織をまたいだ人事交流の必要性を社員に説く。「脱・マインドセット(先入観、固定した考え方を捨てる)を、とも言っています。何事にも柔軟に対処しよう、という意味です。」

「ともかく自分でものを考えられる人が欲しい。当社は社名に塗料とあるので化学関係の学生はたくさん来てくれます。一方、自動車用防音部品のトップメーカーでもあり、機械や電気も学び、図面を引ける学生にもっと入ってもらいたいですね」と付け加えた。

# 定年退職の皆さん

3月に定年を迎えられた教職員の皆さんを紹介いたします。大学と学生たちに、思い出と励ましの言葉を残してくださいました。(敬称略)

## 教員(7人)

小林 政信(先端材料工学科・教授)



企業から転職して25年、常に若い人と接する素晴らしい環境でした

小峯 裕己(建築学科・教授)



私立大学は、2030年・2040年問題が待ち受けています。法人に全てを頼らないで、回避できるよう、皆さんの奮起を期待しています。

滝口 泰之(生命科学科・教授)



千葉工大の卒業生が社会で活躍するのが楽しみです。25年間、ありがとうございます。

白石 光昭(デザイン工学科・教授)



皆様のさらなるご活躍を期待しています。日々是好日。

八島 由幸(情報ネットワーク学科・教授)



段ボール 思い出詰める14年 研究室に溢る春の陽 ありがとうございます

仲林 清(情報ネットワーク学科・教授)



充実した教員生活でした。学生・職員・教員みなさんに感謝!!

柴橋 祐子(情報ネットワーク学科准教授)



長い間、ありがとうございました。キャンパスの木々の緑がいつまでも続きますように。

## 職員(3人)

高木 新一(警備主任・総務担当)



皆様のおかげで、充実した11年間、そして職務を完遂することができました。心から感謝申し上げます。

宮 敏(警備員・総務担当)



大変お世話になりました、ありがとうございました。

加村 秋男(警備員・新習志野学生担当)



楽しく勤務することができました。ありがとうございます。

# 久々演舞よさこい風神

## ■新習ふれ愛まつり

公民館と新習ふれ愛ネット(地区学習圏会議)の主催で、地域住民が世代を超えて集まる大きなイベントの一つ。香澄、秋津地域の小学校有志や、同館で練習している吹奏楽メンバーたちの発表後、風神がさつと駆け出て列を組み、テーマ曲「仁彩」や、千葉よさこい島、南中ソーランなどの乱舞を展開したII写真。

エンジンの袴に黒い衣装が、途中で肩脱ぎすると黄と赤っぽい衣装に代わり、切れのある格好よい踊りを見せた。

服部主将は「久々にマスク

なしの演舞。笑顔で踊り、掛け声で場を盛り上げることを心掛けた。全員がとてもいい表情で生き生きと踊れたと思います。5月のお祭りに向け、完成度を高めていきたいと話していた。



## 同窓会



いので新鮮であるのと同じに、先輩達の就活の姿を後輩の寮生達に見せることは有意義なことであると感じています。

新習志野キャンパスにある学生寮は、千種寮の時代から移転を機に運用が変わり、二年制の寮になりましたが、寮友会執行部に所属することで、最大四年間在寮することが可能となっています。就職活動中の執行部寮生のスーツ姿を見ると、普段のラフな姿しか知らな

## 四季雑感



3月になり、日に日に日差しが暖かくなってきました。それに合わせて、花粉が飛び始めています。私は花粉症ではありません(と思っております)が、毎年この時期になると気のせいか目や喉に違和感のある時があり、花粉症予防としてマスクを着用してきました。

活が待っています。また、コロナ禍の窮屈だった生活の終わりも目前となり、待ちに待った自由な生活が待っています。マスクを外して、これまで隠れてしまっていた表情、蓄えてきたパワーを思う存分出してくださいます。そして、学生生活で学んできたことを一杯発揮し、社会人生で活躍できることを願っています。

先端材料工学科 高橋伊久磨

## 新任紹介

新飯田 佳枝



(敬称略)

務担当事務職員) どんどんアップデートする環境に驚きもありますが、自身も笑顔で楽しんで新しいことにチャレンジしたいと思えます!

趣味の食べ歩きでチャージして頑張ります。

## 編集だより



学位記授与式が来週開催ともなると、卒業生の別れが本格化し、落ち着かない気分になる。昨年は学位記授与式の前日、穏やかな休日の午後、犬の散歩に出かけたら転んで右足を骨折してしまい、これまで欠かさず出席していた学位記授

与式に出られず、別の意味で落ち着かなかった。今年も今年で、またそわそわしてしまう出来事が...。どうも、NFTです。学位証明書がNFTに!! 本紙1面でも紹介している通り、今年の卒業生は従来の卒業証書に加え、希望者にはNFT学位記が発行される。学生たちが自ら考案したデザインコンセプトの「原石」は、宝石に変化するまでの「自ら掘り、

磨き、徐々に光っていく」過程が、大学生活を通じて学生が成長していく過程に似ていると考えたからだという。世界中のどこに行っても「千葉工大の卒業生であること」に誇りを持ち、それぞれの未来へ舞い上がって行けるよう、新たな舞台への門出をお祝いします。ご卒業、おめでとうございます。 入試広報部 大橋 慶子